

## H27.3.17 設楽ダム魚類検討会 議事概要

○日 時：平成27年3月17日（火） 14時00分～17時00分

○議事概要：

表 H27.3.17 設楽ダム魚類検討会の議事概要

議事項目	議事内容	報告事項	委員の主な意見	意見に対する回答
1.魚類検討会の経緯	・魚類検討会の経緯について	・これまでのネコギギ保全検討の流れを説明した。	・ネコギギ保全の進め方はどのように進めて行くのか。これまでと変わったのか。	・魚類検討会では、試験湛水までに移植を進めることを目標にしてきた。そのために、野外実験等を進めていく。
2. モニタリング調査	・生息個体数の推移について	・ダムの直接的な影響を受ける集団や、流域全体の個体数の予測の推移について報告した。	・水系全体のネコギギの生息状況を把握する調査を、再度実施してはどうか。	・生息状況モニタリングは実施しているが、全域の調査についても検討していきたい。
	・生活史パラメータ取得のための調査	・平成26年度のモニタリング調査全体について報告し、生息環境と流況の関係等について検討、報告した。	・平成26年度はある生息淵の間隔が減ってきているという話があったが、何か理由があるのか。	・生息淵の形状が変わったということが考えられており、少し特異的な状況であったと考えている。
	・横穴変動量調査			
3.飼育繁殖状況	・屋外飼育繁殖結果の再整理	・平成26年度に実施し成功した、屋外飼育繁殖（粗放の飼育）の結果について説明した。	・屋外の粗放的飼育繁殖で、繁殖ユニットを使ってはどうか。野外での繁殖場実験は、ユニットの大小、水深等の条件を調べるためだが、観察のしやすさ、効率等を考慮すると適用できるのではないかと。	・屋外飼育施設での、繁殖ユニットを使った実験は、親魚の採捕状況を踏まえて今後検討し、実施していきたい。
	・人工授精試験	・現在までの成果と、今後の実験方針について説明した。	・了承された。	・特になし。
	・繁殖用親魚の採捕方針	・今後の親魚の採捕方針について説明した。 ・ある集団の個体への対応案について説明した。	・今回実施する親魚の採捕は、ネコギギを保全することより、将来的な移植、放流実験に役立てること、今後の工事の際のネコギギへの影響を軽減させることの目的をしっかりと記載すべき。	・今後の説明はそのようにしていく。
	・H27 繁殖計画	・次年度の飼育繁殖計画について提案した。	・今後の飼育繁殖計画について、場所に加えて、繁殖のペアリングなどについての検討も必要である。	・今回、繁殖計画を立案した。 ・ペアリングなどの詳細は、今後の親魚の採捕状況を踏まえて計画していく。
4.放流実験	・本川の実験について	・現在進めている放流実験の結果と、今後の計画について説明した。	・放流個体の生残率については、現在の知見でどれだけの一般性があるのか。 ・実験しながら、手法は順応的に改善していくべき。認識を新たにしながら実験的な検証を組み入れて改善していくべき。 ・環境改善、特に追加放流に関して幾つかの課題、留意事項を含め、根拠性については一定の理解を得た。実施に向けて進めていただきたい。	・野外個体の再捕獲率と比較して、放流個体の生残率が同程度であると推定している。 ・野外実験等でわかったことを示しながら、委員の意見も踏まえて、順応的に実験を行っていく。
	・支川の実験について			

議事項目	議事内容	報告事項	委員の主な意見	意見に対する回答
5. 豊川におけるネコギギ流域保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊川におけるネコギギ流域保全について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊川におけるネコギギ流域保全のスタンス、地域連携の状況について説明した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>下流河川環境の予測評価について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生息適地モデルによる河川環境の予測評価として、大きい空間スケールでのポテンシャルマップを示した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一時的には個体数が増える場所もあって、そこだけが守られても良くない。いるかないかだけでなく、生息している場所の濃淡を考慮しておかなくてはいけない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生息数の濃淡も踏まえたモデルの作成を今後検討していく。</li> </ul>
6. 関係機関協議について	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状変更協議について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の現状変更協議の方針について説明した。</li> <li>現在までに取り組んできたネコギギ保全の進捗について説明した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移植対策についてはまだ調査検討中の状況であり、協議にあたっては、野外実験の現状を踏まえた内容とすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議内容は、野外実験の現状を踏まえた内容とする。</li> </ul>
7. その他魚類の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>トウカイナガレホトケドジョウについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トウカイナガレホトケドジョウのポテンシャルマップについて報告するとともに、今後の検討計画を示した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トウカイナガレホトケドジョウの分断の影響はどのように推定していくのか。</li> <li>ハビタットマップの提示は価値ある進捗だが、分断化の評価が次のステップである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分断化の評価について、ネコギギの検討も参考として、今後検討を進めていく。</li> </ul>
8. 設楽ダム事業の工事の状況について	<ul style="list-style-type: none"> <li>付替道路等工事の状況説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>付替道路の施工状況や環境対策、および工事用道路の対策工や樹木伐採の内容について説明した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>
9. 全体			<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、ネコギギの移植について具体的な対策方針を検討する必要があるが、ネコギギについて、生息環境等の解析の仕方も検討しながら進めており、検討会としては着実な形で進んでいると判断する。</li> <li>本日の意見を踏まえて、調査検討のステップを進めてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見を踏まえて進めていく。</li> </ul>